

金沢庄三郎 国語学者。「日韓両国語同系論」を著し日本語強制に抗議、アイヌ文化にも共感を示して、排斥され出家。

かなざわしょうざぶろう

学問のすすめ1872 = 大阪瓦屋町で、米穀商の長男に生まれる。

明治6年政変 1873 = 1歳：

生来虚弱で小児麻痺にも罹ったため、母から学問の道を歩ませるように育てられ、

明治14年政変1881 = 9歳：

秩父事件・・・1884 = 12歳：大宝寺小学校を卒業し、文部省直轄の大阪中学校へ入学、

親友阿部守太郎のほか、同期の喜田貞吉・姉崎正治、1年上の幣原喜重郎らと親交し、

帝国憲法発布1889 = 17歳：この年、大阪中学校が第三高等中学校となって京都に移転、

帝国議会始 1890 = 18歳：

在学中に博言学専攻を決意し、

郡司千島探検1893 = 21歳：三中卒業とともに、_帝国大学文科大学博言学科に進み、神保小虎の指導でアイヌ語を研究対象とする。

日清戦争始 1894 = 22歳：学長外山正一の示唆を受けるとともに、地理的に見て日鮮間には強い関係があると思い、朝鮮語の研究も始め。この年、ドイツから帰国した上田万年の指導を受け、

日清戦争終 1895 = 23歳：3年から朝鮮語が必須となる。

八幡製鉄始 1897 = 25歳：共訳・共著で「ことばのいのち」を刊行。

子規句歌革新1898 = 26歳：*「アイヌ語会話辞典」を著す一方、早くも評論で、国語は国民の精神的生命を代表し、それを奪うことは、その国民を滅ぼすことになる」と喝破。朝鮮に留学し、{朝鮮月報}の編集に従事し、研究成果も発表、

Bushidou・・・1899 = 27歳：

田中正造直訴1901 = 28歳：*帰国し、東京外国語学校韓語学科教授となり、

教科書疑獄 1902 = 29歳：母校帝国大学の朝鮮語講師にもなり、

日露戦争終 1905 = 32歳：

韓国反日暴動1907 = 35歳：この年刊行された三省堂「辭林」の編纂に従事、

アライ 創刊 1908 = 36歳：

伊藤博文暗殺1909 = 37歳：「日韓両国語同系論」発表、

韓国併合・・・1910 = 38歳：この年、*日韓併合で朝鮮の初等教育に日本語を導入しようとする動きに抗議、

大逆事件判決1911 = 39歳：_続いて「余の朝鮮人教育意見」を発表するも、世間は冷ややかで、

明治天皇没 1912 = 40歳：

第一次大戦始1914 = 42歳：かつて_日韓の密接な関係を疑わなかった白鳥庫吉から「日韓両国語同系論」が批判され、

民本主義・・・1916 = 44歳：_自ら教授していた東京外国語学校朝鮮語学科では募集すら取り止められ、

ロシア革命 1917 = 45歳：*ついに、東京帝国大とも合わせて辞職。{朝日新聞}に持論を発表。

大暴落・・・1920 = 48歳：_アイヌ文化への深い共感を示す「言語に映じたる原人の思想」。

原敬首相暗殺 1921 = 49歳：

治安維持法 1925 = 53歳：この年刊行された三省堂「廣辭林」の編纂にも従事、

円本時代始 1926 = 54歳：

世界恐慌・・・1929 = 57歳：_「日鮮同祖論」を著した後、

満州事変・・・1931 = 59歳：

芥川直木賞始1935 = 63歳：

日中戦争始 1937 = 65歳：

日米開戦・・・1941 = 69歳：

_晩年は永平寺別院長谷寺で過ごし、

年金+総武装 1944 = 72歳：

敗戦・・・1945 = 73歳：

新憲法公布 1946 = 74歳：_得度。

独立回復・・・1951 = 79歳：

テレビ放送始 1953 = 81歳：

自衛隊発足 1954 = 82歳：_土地資金を提供して設立された長谷寺付属麻布あけぼの幼稚園初代園長となり、

安保闘争・・・1960 = 83歳：この頃から、_「日鮮同祖論」が日本の朝鮮支配に利したとして批判されるようになるなか、

美濃部都知事1967 = 95歳：そのまま、_没した。

「韓国・朝鮮と向き合った36人の日本人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、